

# 東京湾海況情報 17-10

東京湾水質調査結果(平成 17 年度 1 月分)

平成 18 年 1 月 26 日

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091

0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp)

## 東京湾水質調査結果(平成 18 年 1 月分)

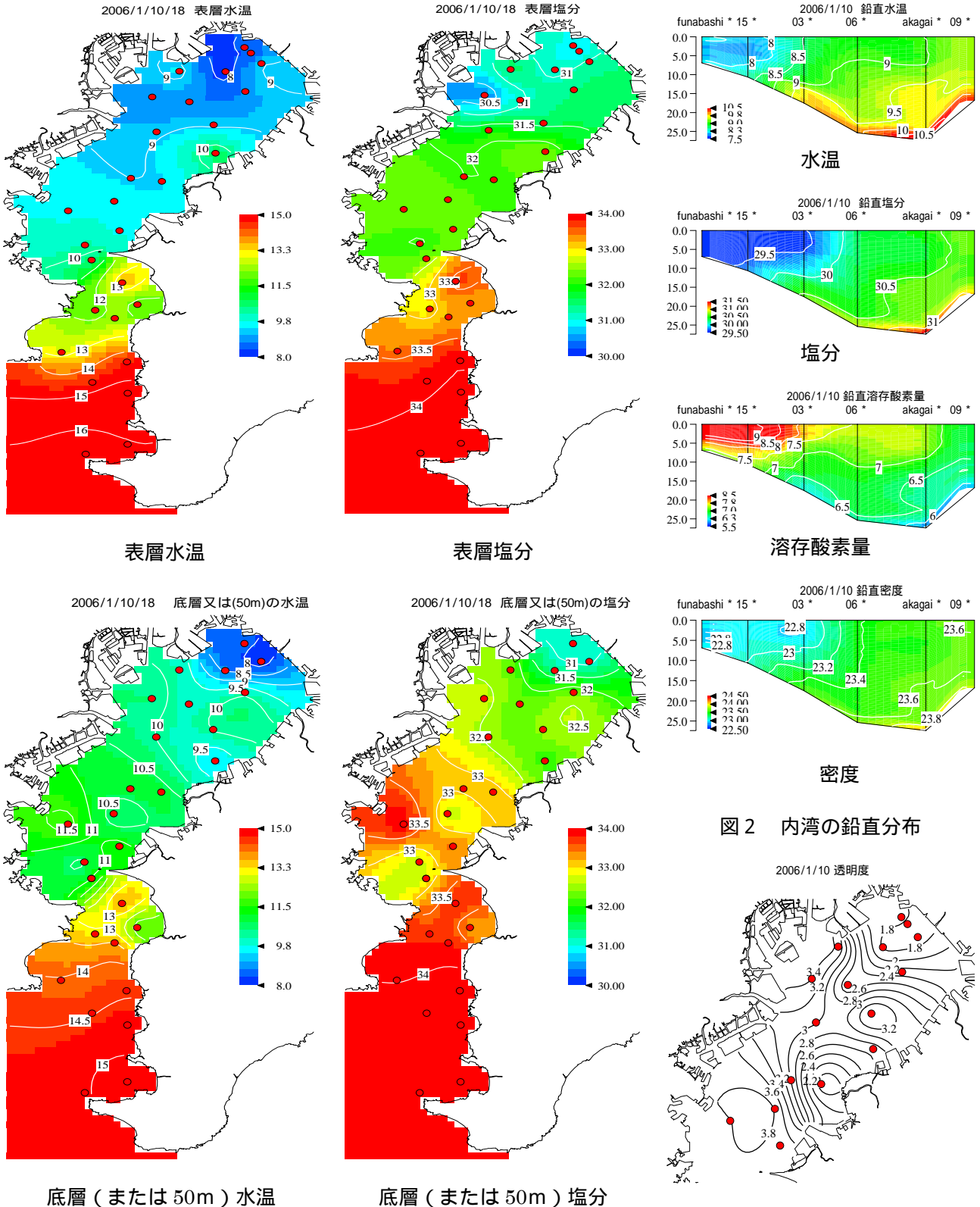


図1 東京内湾の水温・塩分

図3 透明度

図2 内湾の鉛直分布

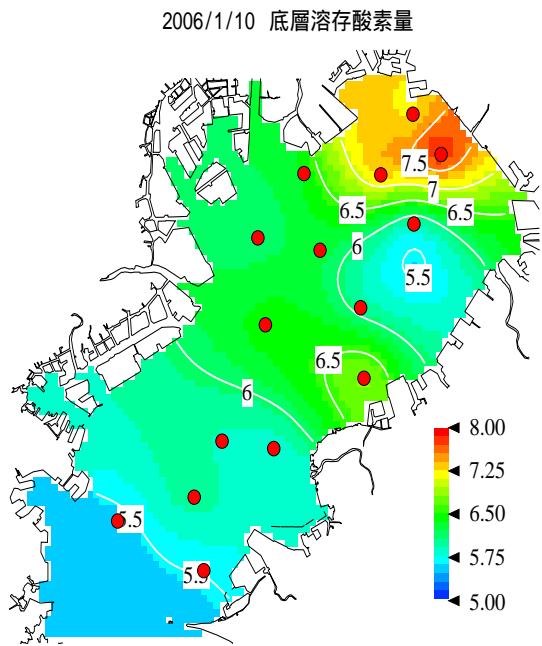


図4 底層の溶存酸素

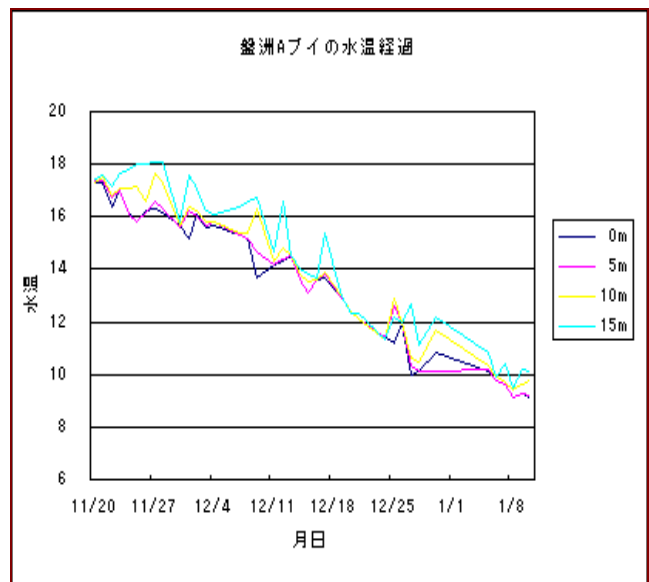


図5 盤洲Aブイの水温経過

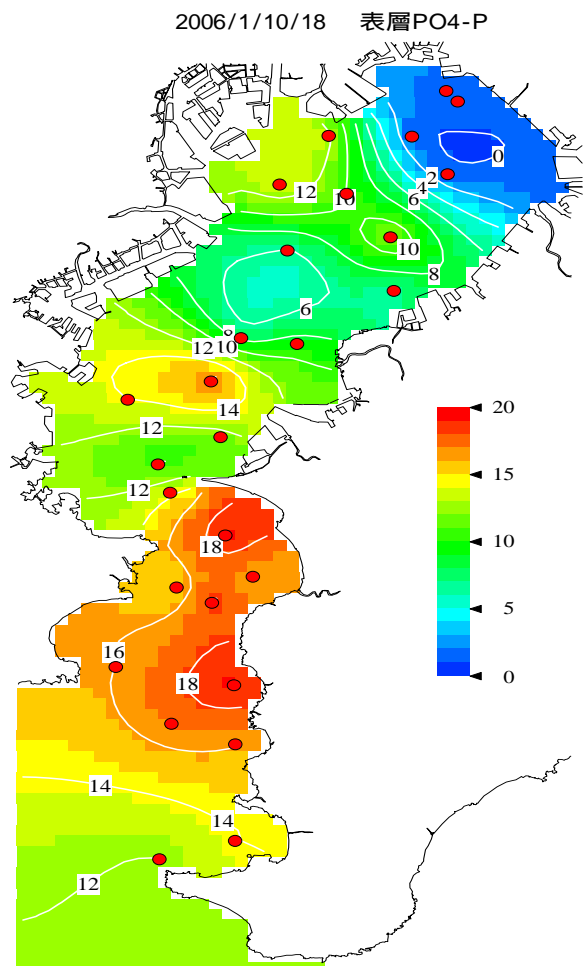
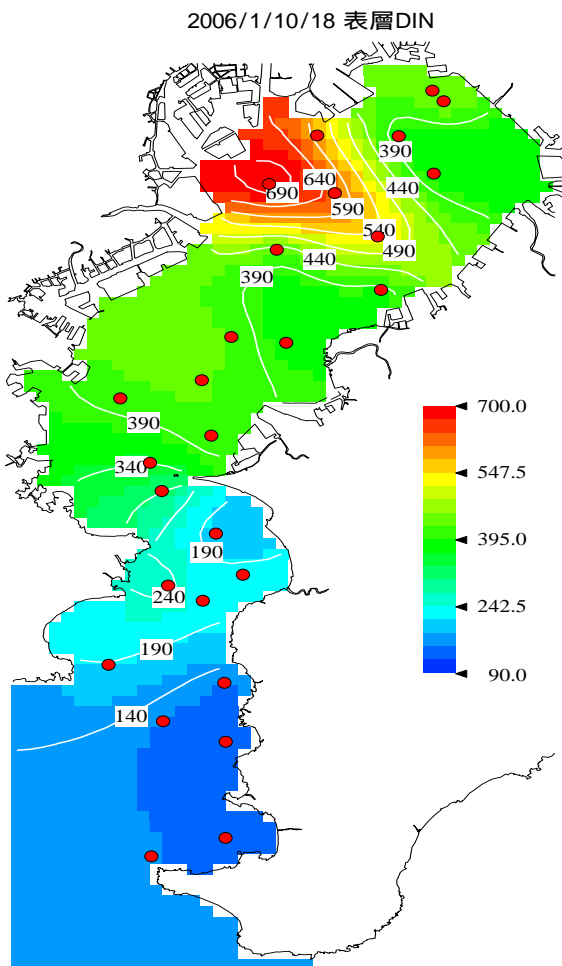


図6 表層の栄養塩

水温・塩分の状況 (図1~2, 5及び表1)

内湾の表層水温は、年明けから急激に低下し、盤洲Cブイを除き、10以下に降下してきました。海域的な較差は少なく、ほぼ様な水温分布となっております。12月からの冷え込みで、平年に比較し1~2

低くなっており近年にない低水温となっています。塩分は内湾表層で29‰~30‰で、降水量が少ないにもかかわらず平年並からやや低めとなっております。水温と同様に海域的な較差は少なく、中央部~北部海域で30‰以下であった他は、ほぼ一様な分布を示していました。内湾と内房の観測日が8日開いていますので分布図を見る時は注意して下さい。

赤潮の状況

七四郎丸による調査では、12月末頃から珪藻プランクトンが増加し始め、今回の調査時では東京内湾全域でほぼ5m以下の透明度で(図4参照)赤潮状態を呈しており、透明度はかなり低下しています。優占しているプランクトンは珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)で、その他、同じく珪藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)、コスキノディスクス(*Coscinodiscus* sp.)、タラシオシーラ(*Thalassiosira* sp.)などでした。なお、1月24日の調査では赤潮は解消していました。

「千葉県赤潮の目安(内湾)は...色:オリーブ~褐色、溶存酸素の飽和度:150%以上、透明度:1.5m以下、pH:8.5以上、クロロフィルa量:50µg/l以上としています。

貧酸素水塊の状況(図2,表1)

底層の溶存酸素量は、全域で5ml/l以上を示しており、先月に引き続き、貧酸素水塊は見られませんでした。

栄養塩類(図6,表1)

11月に比べ、溶存態窒素、アンモニア態窒素、リン酸態リンは、富津ベタを除き、内湾全域で大幅に減少しています。これは、1月に入ってから発生している珪藻プランクトンにより吸収されたためと考えられますが、特にアンモニア態窒素、リン酸態リンの減少が著しくノリの色落ちが懸念されます。なお、1月24日の調査では北部海域の燐酸態りんは増加傾向を示していました。

黒潮の流路(図7)

1月13日の一都三県漁海況速報によると、「駿河湾沖~伊豆諸島北部海域は14台の水温に覆われている。野島崎南東方には暖水波及が見られる。」となっています。

表1. 主な調査点の水質調査結果(表層)

調査年月日:平成18年1月10日

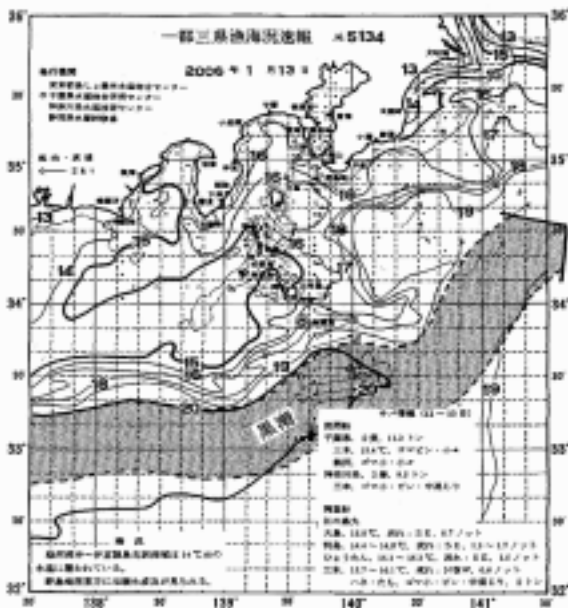


図7 黒潮の動き

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (µg/L)	リン酸 態リン (µg/L)	アンモ ニア 態窒素 (µg/L)	クロロ フィルa 量 (µg/L)
船橋	1.9 (3.0)	8.1 (9.4)	30.97 (31.22)	8.7 (8.3)	7.2 (6.0)	436 (764)	1 (45)	3 (229)	
St. 1.5	1.8 (4.3)	7.8 (10.2)	29.46 (31.56)	8.7 (8.2)	7.2 (5.9)	375 (718)	1 (31)	4 (224)	
st. 3	2.5 (5.0)	8.5 (10.3)	31.44 (31.58)	8.5 (8.2)	6.2 (5.9)	626 (792)	10 (32)	66 (299)	
St. 6	3.0 (6.1)	8.9 (10.6)	32.45 (31.02)	8.5 (8.3)	6.3 (5.4)	425 (710)	7 (31)	7 (242)	
St. 9	3.8 (6.2)	9.4 (11.1)	30.62 (32.22)	8.5 (8.2)	5.9 (5.9)	413 (556)	16 (26)	20 (146)	
盤洲Cブイ	2.7 (5.0)	10.7 (11.5)	30.61 (31.93)	8.6 (8.2)	6.8 (5.7)	376 (617)	6 (31)	3 (166)	
St. 8	1.9 (5.5)	9.1 (10.9)	30.44 (32.18)	8.6 (8.2)	5.7 (5.4)	373 (574)	9 (27)	4 (155)	
盤洲Aブイ	3.7 (5.6)	9.5 (11.1)	30.57 (32.22)	8.4 (8.2)	5.5 (5.4)	403 (480)	11 (32)	18 (77)	
第2海ほ下	(7.0)	(12.5)	(33.30)	(8.3)		(385)	(20)	(90)	
st. 3.1	(11.7)	(14.5)	(33.97)	(8.3)		(230)	(15)	(40)	
st. 2.3	(20.6)	(16.0)	(34.57)	(8.3)		(113)	(10)	(18)	
st. 1	(18.9)	(16.3)	(34.57)	(8.3)		(111)	(12)	(18)	
St. 1.0 (下洲沖)	(8.8)	(13.9)	(33.91)	(8.3)		(248)	(12)	(52)	
St. 1.2 (湊沖)	(7.0)	(13.8)	(33.90)	(8.2)		(246)	(14)	(50)	
St. 2.2 (保田沖)	(16.5)	(15.7)	(34.48)	(8.3)		(130)	(10)	(18)	
St. 2.4 (富浦沖)	(19.0)	(15.7)	(34.53)	(8.3)		(126)	(12)	(17)	
St. 2.6 (館山湾内)	(18.6)	(16.0)	(34.43)	(8.2)		(131)	(10)	(19)	

( ): 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去5年分)  
透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています

表1 主な調査点の水質調査結果

注:今回は、内房海域を観測する「ふさみ丸」が、都合により18日の観測になったため、内湾と内房の分布が不連続となっています。ご了解下さい。先週お送りした速報に内房海域を加え、再度送付いたしますので、差し替えをお願いいたします。

資料: 東京湾水質調査(内湾海域:1月10日・わかふさ,1月18日ふさみ丸)の結果ほか、海上保安庁海洋情報部(モニタリングポスト) 東京都環境局、一都三県漁海況速報、東京湾口海況図の情報を利用して頂きました。